

事務事業評価表(既存事業)

コード 13-4-5	事務事業名 地域資料データベース作成事業	所管部課 生涯学習部中央図書館
---------------	-------------------------	--------------------

事務事業の概要	事務事業の目的 地域行政資料として収集・保存・提供している新聞記事をデータベース化する。	総合計画上の位置づけ
	実施内容、実施方法 紙ベースの新聞記事をデジタル化し、図書館システムで活用可能なデータベースを作成する。	根拠法令等
	事業開始時期 平成 16 年度	実施形態 <input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> その他()

評価指標の設定	活動指標名 データベース作成件数	活動指標の考え方(定義) デジタル化した新聞記事の件数
	成果指標名 アクセス件数	成果指標の考え方(定義) 利用者が閲覧するための端末が未設置のため、アクセス件数は現在計測不可

		単位	14年度	15年度	16年度	17年度	
事務事業データ	事業費(A)		0	0	8,925		
	国庫支出金	千円					
	都支出金						
	地方債						
	その他				8,925		
	一般財源						
	所要人員(B)	人			0.10		
	人件費(C)=平均給与×(B)	千円	0	0	833	0	
	総コスト(D)=(A)+(C)	千円	0	0	9,758	0	
	単位当たりコスト (E)=(D)/(データベース作成件数)	千円	0	0	0.24	0	
	歳入	千円					
	活動指標	目標値	件			41,341	
		実績値	件			41,341	
	活動指標	目標値					
実績値							
成果指標	目標値	件			0		
	実績値	件			0		
成果指標	目標値						
	実績値						

事業環境	市民・関連団体等の意見 (アンケート結果など)	
	国・都・他市・民間等 における類似事業	
	運営上の制約条件・ 外部要因等	著作権の制限(複写)

コード 13-4-5	事務事業名 地域資料データベース作成事業	所管部課 生涯学習部中央図書館
---------------	-------------------------	--------------------

項目	評価結果	判断理由、説明等
事業所管部評価	実績 <input type="checkbox"/> 極めて良好 <input checked="" type="checkbox"/> 良好 <input type="checkbox"/> 不十分 <input type="checkbox"/> 極めて不十分	田無・保谷時代からの新聞記事の劣化および紛失を防ぎ、永年保存することが容易となった。
	必要性 <input checked="" type="checkbox"/> 増大 <input type="checkbox"/> 変化なし <input type="checkbox"/> 減少、一部なし <input type="checkbox"/> かなり減少	デジタル化することにより資料の保存性が向上し、多様な検索の手段を構築することが可能になるため、利用者の利便性が向上する。
	効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 大きく改善 <input type="checkbox"/> 問題なし <input type="checkbox"/> 問題あり <input type="checkbox"/> 抜本的な問題あり	図書館システム上で検索ができるので、市内図書館ネットワークでの活用が可能になる。
	公平性 <input type="checkbox"/> より充実 <input type="checkbox"/> 問題なし <input checked="" type="checkbox"/> 問題あり <input type="checkbox"/> 抜本的な問題あり	データベース化により業務ネットワーク上の公平性が確立され効率性は向上したが、市民の閲覧できる手段が未整備のため、利用者への情報提供の手段が課題である。
	総合評価 <input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続実施 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input checked="" type="checkbox"/> 廃止・休止	利用者のための検索環境を整備する。

17年度における改善点	利用者が閲覧できる検索機の設置および閲覧システムの確立を推進する。
-------------	-----------------------------------

行革本部評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続実施 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止
--------	--

評価の視点

- 実績：十分な成果をあげているか。必要以上のサービスにより、経費が過大となっていないか。など
- 必要性：国・都・民間での実施状況に鑑み、市が実施すべき事業といえるか。社会経済状況の変化を踏まえて実施しているか。廃止した場合に大きなデメリットは生じるか。など
- 効率性：限られた財源を有効に活用しているか。現在の実施方法が最も効率的な方法といえるか。など
- 公平性：サービス対象に問題はないか。利用者の利便性に配慮しているか。受益者負担の水準は妥当か。など
- 総合評価：各項目の評価及び類似団体等とのサービス水準の比較を踏まえた、今後の事業のあり方・方向性。
- 拡充：ニーズの増大に対応して、事業を更に強化する必要があるもの。
- 継続実施：現状水準で事業を継続していくもの。給付対象者の自然増減に伴いコストが増減する場合を含む。
- 改善・見直し：現在の仕組みを前提としつつ、実施方法の見直しなどにより改善を図るべきもの。
- 抜本的見直し：事業の委託化や一部廃止など、事業の仕組みを含めた根本的な見直しが必要なもの。
- 廃止・休止：事業を休止又は廃止するもの。単年度事業など、終了が確定しているものを含む。